令和９年度
(2027 年度)

鹿児島大学病院

看護師特定行為研修
２次　募 集 要 項

〒890-8520
鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目 35 番 1 号
TEL:099(275)6378　FAX:099(275)6392
鹿児島大学病院看護師特定行為研修センター

１．鹿児島大学病院における特定行為研修の教育理念

本院は、県下唯一の大学病院として、高度実践的看護臨床教育を通して地域医療および急性期医療の質向上に貢献し、特に医療資源の少ない離島・へき地でも安全で安心な医療を提供できる人材を育成することを目指します。

また、特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者及び国民並びに医師及び歯科医師その他医療関係者から期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できるよう、自己研鑽を継続する基盤を構築するものです。

このため、特定行為研修を通して特定行為を実践する看護師としての社会的責任と役割を自覚し、新たな医療の発展に寄与することのできる人材を育成します。

２．教育目標

1)．急性期医療や地域医療において、臨床判断を行うために必要な能力（知識、技術、態度）を養う。

2)．特定行為を適切なタイミングに、倫理的、かつ安全に行える能力（知識、技術、態度）を養う。

3)．医学的視点と看護学的視点を融合した新たな役割の中から、多職種の専門性を尊重しチーム医療が円滑に働くように支援できる能力（知識、技術、態度）を養う。

３．研修の特色

各学会認定の指導医・専門医資格などを有する医師と特定行為研修を修了した看護師等による講義と演習を行います。また、総合臨床研修センターを活用した実践的な演習を重点的に行い対応力が身につく研修を行います。

４．開講する区分別特定行為及び領域別特定行為研修

１）区分別特定行為研修

特定行為区分	特定行為	定員
(1)感染に係る薬剤投与関連	・感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	５名
(2)血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・インスリンの投与量の調整	５名

２）領域別特定行為研修

【在宅・慢性期領域パッケージ　定員１名】

特定行為区分	特定行為
ア　呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換
イ　ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
ウ　創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
エ　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正

【外科術後病棟管理領域パッケージ　定員５名】

特定行為区分	特定行為
ア　呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置調整
イ　呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更
ウ　呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換
エ　胸腔ドレーン管理関連	・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去
オ　腹腔ドレーン管理関連	・腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）
カ　栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去
キ　栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
ク　創部ドレーン管理関連	・創部ドレーンの抜去
ケ　動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血
コ　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
サ　術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
シ　循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

【術中麻酔管理領域パッケージ　定員５名】

特定行為区分	特定行為
ア　呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
イ　呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱
ウ　動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
エ　栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正
オ　術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
カ　循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

３）急性期コース

【術中麻酔管理領域パッケージ＋区分別科目　定員２名】

	特定行為区分	特定行為
術中麻酔管理領域パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱
	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正
	術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
組み合わせ可能な区分別科目及び特定行為	ア 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	イ 循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
	ウ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去
	エ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入

4）在宅コース（院内）

【在宅・慢性期領域パッケージ＋区分別科目　定員２名】

特定行為区分		特定行為
在宅・慢性期領域パッケージ	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換
	ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正
ア　呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連		・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱
イ 循環動態に係る薬剤投与関連		・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

５．研修内容と時間数

共通科目	時間数（時間）
臨床病態生理学	３０
臨床推論	４５
フィジカルアセスメント	４５
臨床薬理学	４５
疾病・臨床病態概論	４０
医療安全学／特定行為実践	４５
合計	２５０

※　共通科目時間数のうち１９４時間は、e-learningによる個別受講となります。

（区分別特定行為研修）

共通科目	時間数
	250

区分別科目及び特定行為の名称	時間数
(1) 感染に係る薬剤投与関連 ・感染兆候がある者に対する薬剤の臨時の投与	31
(2) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ・インスリンの投与量の調整	18

（領域別特定行為研修）

共通科目	時間数
	250

領域別パッケージ、特定行為区分及び特定行為の名称	時間数
(1) 在宅・慢性期領域パッケージ	72
ア 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 ・気管カニューレの交換	11
イ ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	19
ウ 創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	29
エ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正	13
(2) 外科術後病棟管理領域パッケージ	150
ア 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	12
イ 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更	20
ウ 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 ・気管カニューレの交換	11
エ 胸腔ドレーン管理関連 ・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去	16
オ 腹腔ドレーン管理関連 ・腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜去を含む）	10
カ 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	9

・中心静脈カテーテルの抜去	
キ 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	11
ク 創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去	7
ケ 動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血	12
コ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	13
サ 術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	10
シ 循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	19
(3) 術中麻酔管理領域パッケージ	87
ア 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	12
イ 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱	20
ウ 動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	18
エ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正	13
オ 術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	10
カ 循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	14

（急性期コース）

共通科目	時間数
	250

急性期コース		
基本	術中麻酔管理領域パッケージ	87
組み合わせ可能な区分別科目及び特定行為	ア 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	
	・非侵襲的陽圧換気の設定の変更	6
	・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	6
	イ 循環動態に係る薬剤投与関連	
	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	4
	・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	4
	・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	4
	・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	4
	ウ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	
	・中心静脈カテーテルの抜去	9
	エ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）	
	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	11

（在宅コース（院内））

共通科目	時間数
	250

在宅コース（院内）		
基本	在宅・慢性期領域パッケージ	72
ア 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱		34
イ 循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		34

６．募集定員

・感染に係る薬剤投与関連　５名
・血糖コントロールに係る薬剤投与関連　５名
・在宅・慢性期領域パッケージ　１名
・外科術後病棟管理領域パッケージ　５名（院内枠２名）
・術中麻酔管理領域パッケージ　５名（院内枠２名）
・急性期コース　２名（院内枠１名）
・在宅コース（院内）　２名（院内枠２名）

７．研修期間

令和９年４月１日（木）　～　令和 10 年３月 31 日（金）12 ヶ月

８．研修場所

当研修では、原則として研修生の所属施設が協力施設となり実習を行います。鹿児島大学病院及び鹿児島大学病院の協力施設（キラメキテラスヘルスケアホスピタル・金子病院）において実習する場合もあります。

９．講義時間及び研修スケジュール

出校日	時間	内容	場所
４月		入講式・オリエンテーション	
４月～５月 各月２日間	8:00～8:30	e-learning 受講状況確認	総合臨床研修センター 看護師特定行為研修センター
	8:30～17:20	共通科目の演習・実習	
６月上旬～中旬 集中研修期間	8:30～17:20	共通科目の演習、実習、筆記試験 （８日間）	
６月下旬 ～７月下旬 ３日間	8:00～8:30	e-learning 受講状況確認	
	8:30～17:20	領域別特定行為研修の講義・ 演習・実習	
８月中旬 ～９月下旬 集中研修期間	8:30～17:20	領域別特定行為研修の 演習・実習（4-5 日間） OSCE・試験（4-5 日間）	
10 月～11 月 集中研修期間	8:30～17:20	区分別特定行為研修の 演習・実習（2-3 日間）	
実習期間	8:30～17:20	領域別特定行為研修の実習期間 （10 月～2 月） 区分別特定行為研修の実習期間 （12 月～2 月）	救命救急センター 一般病棟、協力施設 （可能な限り研修生自施設）
３月		研修修了式	

※入講式の詳細については後日お知らせいたします。

※講義、演習、実習、試験等の日程については入講式の時に別途配付します。

各パッケージ実習期間の目安として鹿児島大学病院で実習を行った場合、下記の期間となります。協力施設（研修生自施設）で実習を行う場合は異なります。

・在宅・慢性期領域パッケージ（週１回３ヵ月程度）※鹿児島大学病院外での実習あり

・外科術後病棟管理領域パッケージ（3 ヵ月程度）

・術中麻酔管理領域パッケージ（1 ヵ月程度）

10. 修了条件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

共通科目を履修し、筆記試験等に合格した後、特定行為区分別科目を履修し、実技試験、実習の観察評価、筆記試験等の科目毎の合格を条件とします。

さらに、修了認定は、関係指導者等による特定行為研修管理委員会で行います。

11. 出願資格

本院の看護師特定行為研修を志願する者は、次の各号に定める資格をすべて満たしていなければならない。

1)日本国内における看護師免許を有していること。

2)看護師免許取得後、通算５年以上の実務経験を有していること。

3)原則として、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属長の推薦書を添付できること。

4)原則として、所属施設が協力施設となって特定行為研修の実習を行えること。

※詳細については、お問い合わせください。

5)今後、特定行為を通じて、医療の発展と社会貢献に寄与する意欲があること。

12. 出願期間

令和８年 12 月１日（火） ～ 令和８年 12 月 25 日（金）17 時必着

募集要項及び出願書類の各様式は、鹿児島大学病院看護師特定行為研修センターホームページからダウンロードしてください。

鹿児島大学病院ホームページ　https://www.hosp.kagoshima-u.ac.jp/tokutei/

13. 出願提出書類

1)看護師特定行為研修志願書 （様式１－１又は様式１－２）

2)履歴書 （様式２）

3)志願理由書 （様式３）

4)推薦書 （様式４）

5)看護師免許証 （写し） ※Ａ４サイズコピー（両面）

6)受講審査料１０，０００円（消費税込）の振込を確認できる書類の写し

受講審査料は、出願期間中に以下の受講審査料振込先に志願者本人名で振り込むこと。
受講審査料の振込手数料は、志願者の負担となります。

受講審査料振込先	
銀行名	鹿児島銀行　　宇宿　支店
口座番号	普通預金　　２４６２８０
ﾌﾘｶﾞﾅ	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ｶｺﾞｼﾏﾀﾞｲｶﾞｸﾁｮｳ
口座名義	国立大学法人　鹿児島大学長

7) 受験票用写真　縦4cm×横3cm　最近６ヶ月以内に撮影した写真　１枚
※必ず、裏面に氏名を記入すること。

8) 受験票返送封筒　(切手不要)
受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記した長３の封筒を１枚同封すること。

9) 既修得科目履修免除申請書(様式７－１又は様式７－２)
既に修了した科目について履修免除を申請する場合のみ提出する。特定行為研修修了証等の修了を証明する書類、修了した研修の内容、履修時のシラバスも同封すること

※なお、提出された書類は、返却いたしません。

14. 出願書類提出方法

上記の出願書類を封入のうえ、封筒表に「特定行為研修受講出願書類在中」と朱書きのうえ、以下の送付先に必ず「簡易書留」で送付するか、または直接持参してください。

(送付先及び問合せ窓口)

〒890-8520　　鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
鹿児島大学病院　Ａ棟８Ｆ 看護師特定行為研修センター事務室
Tel:099 (275) 6378　e-mail：tokutei@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

15. 選考方法及び日時

選考方法：書類審査及び面接、筆記試験
面接日時：令和９年１月12日（火）９時開始
面接場所：鹿児島大学病院内　※詳細は別途通知

16. 合否発表

未定

合格者の受験番号は、鹿児島大学病院看護師特定行為研修センターホームページでお知らせするとともに、合否結果は、本人宛簡易書留にて郵送します。なお、電話、FAX、メールでのお問合せには対応しません。

17. 研修手続き及び研修受講料について

合格通知の際に、選考結果通知書、受講許可書及び誓約書を送付しますので、誓約書は研修受講手続き期間中に提出してください。研修受講料振込については、受講手続き期間終了後に専用振込用紙を送付します。なお、専用振込用紙以外での振込の場合、振込手数料が振込者の負担となりますので、ご注意ください。

受講手続き期間：後日連絡いたします

看護師特定行為研修にかかる経費（消費税を含む。）

共通科目　研修受講料	４２６，８００円

※共通科目研修は特定行為研修に必須です。既修得のかたについては履修免除申請書を提出してください。

区分別科目　研修受講料	
○感染に係る薬剤投与関連	９９，０００円
○血糖コントロールに係る薬剤投与関連	８２，５００円

領域別特定行為　研修受講料	
○在宅・慢性期領域パッケージ（共通科目含む）	７６７，８００円
○外科術後病棟管理領域パッケージ（共通科目含む）	９８２，３００円
○術中麻酔管理領域パッケージ（共通科目含む）	８３９，３００円

急性期コース受講料		
基本	術中麻酔管理領域パッケージ （共通科目含む）	８３９，３００円
組み合わせ可能な区分別科目及び特定行為	ア 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連の内 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	５６，１００円
	イ 循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	８２，５００円
	ウ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ・中心静脈カテーテルの抜去	６９，３００円
	エ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理） ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	８２，５００円

在宅コース（院内）受講料	
在宅コース（院内） （共通科目含む）	１，０４８，３００円

研修受講料振込先		
銀行名	鹿児島銀行	宇宿　支店
口座番号	普通預金	２４６２８０
ﾌﾘｶﾞﾅ	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ｶｺﾞｼﾏﾀﾞｲｶﾞｸﾁｮｳ	
口座名義	国立大学法人　鹿児島大学長	

18. 個人情報の取扱いについて

個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。

また、出願に当たって知り得た氏名，住所その他の個人情報については，本院の特定行為研修及びこれらに付随する事項にのみ利用し，他の目的には利用しません。

19. 教育訓練給付金について

本院の特定行為研修において「外科術後病棟管理領域パッケージ」「在宅・慢性期領域パッケージ」「術中麻酔管理領域パッケージ」は厚生労働省　教育訓練給給付金制度（特定一般教育訓練）の対象講座です。詳細については、厚生労働省ホームページで給付手続き等をご確認ください。

20. その他

本院での研修は、一部 e-learning となるため、各自パソコンを準備してください。

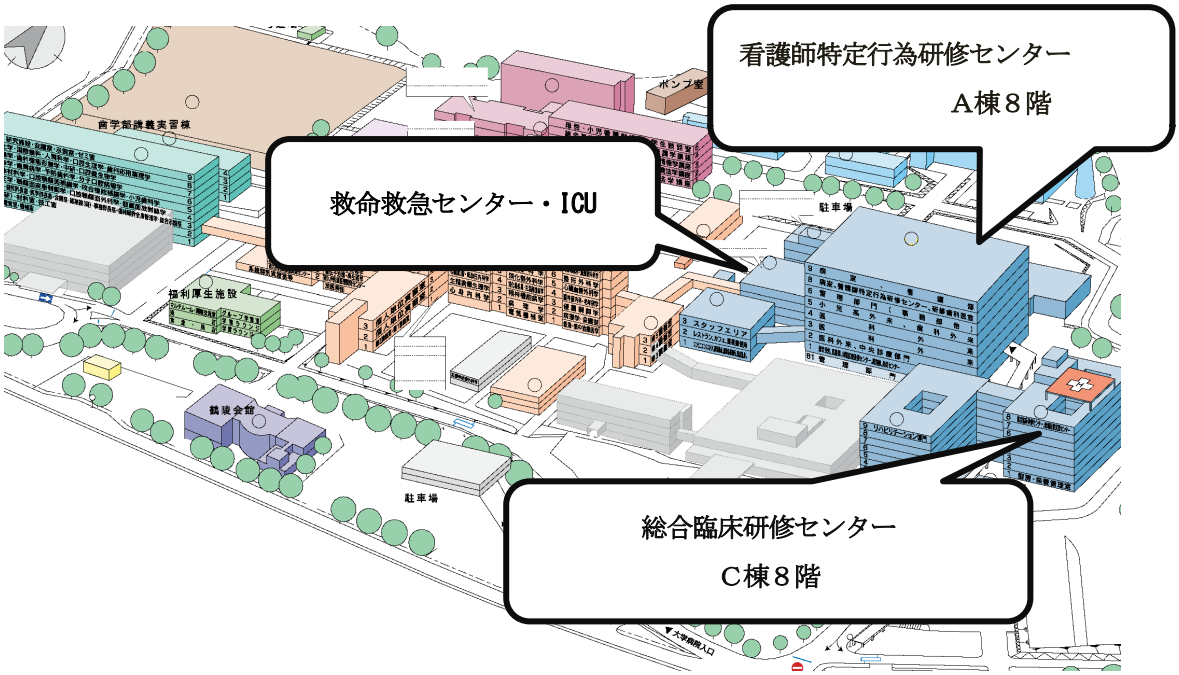
また、研修期間中は看護職賠償責任保険制度への加入が必要となります。

看護師特定行為研修センター及び講義・演習・実習施設

鹿児島大学病院　看護師特定行為研修センター

講義・演習・実習施設（総合臨床研修センター・鹿児島大学病院）

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘８丁目 35 番１号



交通アクセス



- **JR 指宿枕崎線「宇宿駅」下車　約 1.4Km**
  ※「宇宿小学校前バス停」から、鹿児島市営バス・鹿児島交通バスの便があります。
- **鹿児島市電「脇田電停」下車　約 1.5Km**
  ※「脇田電停前バス停」から、鹿児島市営バスのシャトル便があります。
- **鹿児島市営バス（18 番線）、鹿児島交通バス（14, 17, 18, 19, 34, 40 番線）もあります。**

様式１－１（区分別特定行為研修）

※受験番号

令和　　年　　月　　日

令和９年度

鹿児島大学病院
看護師特定行為研修
志　願　書

鹿児島大学病院長　殿

フリガナ

志願者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私は、下記の鹿児島大学病院看護師特定行為研修を受講したく、関係書類を添えて出願いたします。

記

志願する共通科目・特定行為研修区分名（志願する区分に〇を記入する。）

共通科目及び特定行為区分名		志願する区分
共通科目 （どちらかに〇をつける）	共通科目を受講	
	既修得科目履修免除申請	
区分別科目 （複数選択可）	感染に係る薬剤投与関連	
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	

様式１－２（領域別特定行為研修・在宅コース）

※受験番号

令和　　年　　月　　日

令和９年度

鹿児島大学病院
看護師特定行為研修
志　願　書

鹿児島大学病院長　殿

フリガナ

志願者氏名（自署）

私は、下記の鹿児島大学病院看護師特定行為研修を受講したく、関係書類を添えて出願いたします。

記

志願する共通科目・領域別特定行為研修名（志願する区分に〇を記入する。）

共通科目及び領域別特定行為研修名		志願する区分
共通科目 （どちらかに〇をつける）	共通科目を受講	
	既修得科目履修免除申請	
在宅・慢性期領域パッケージ		
外科術後病棟管理領域パッケージ		
術中麻酔管理領域パッケージ		
在宅コース（院内）		

様式１－３（急性期コース）

※受験番号

令和　　年　　月　　日

令和９年度

鹿児島大学病院
看護師特定行為研修
志　願　書

鹿児島大学病院長　殿

フリガナ

志願者氏名（自署）

私は、急性期コースについて、下記の特定行為を組み合わせて受講したく、関係書類を添えて出願いたします。

記

志願する特定行為名（志願する区分に〇を記入する。）

急性期コース		志願する区分
基本	術中麻酔管理領域パッケージ	
組み合わせ可能な区分別科目及び特定行為	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	
	循環動態に係る薬剤投与関連	
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	

様式２

※受験番号

履　歴　書

令和　　年　　月　　日現在

フリガナ		性別	写　真 （縦 4cm×横 3cm） １．最近６ヶ月以内に撮影したもの ２．本人単身胸から上 ３．裏面に氏名を記入し、糊付け
氏　名		男・女	
生　年　月　日	昭和・平成　　年　　月　　日生(満　　歳)		
現　　住　　所	〒(　　－　　) TEL　　(　　) 緊急連絡先　TEL　　(　　)		
E-mail			
選考結果通知先	〒(　　－　　) TEL　　(　　)		
勤務先	フリガナ 施設等名称		
	所　在　地	〒(　　－　　) TEL　　(　　)	
	施設長名		
	出願者の職種		
	出願者の職位		
免許	（看護師）　昭和・平成・令和　　年　　月　　日　免許取得　　号		
	（保健師）　昭和・平成・令和　　年　　月　　日　免許取得　　号		
	（助産師）　昭和・平成・令和　　年　　月　　日　免許取得　　号		
	（認定看護師）昭和・平成・令和　　年　　月　　日　認定　　号		
	（専門看護師）昭和・平成・令和　　年　　月　　日　認定　　号		
	（特定行為研修）　平成・令和　　年　　月　　日　修了		
学歴	昭和・平成・令和　年　月		
	昭和・平成・令和　年　月		
	昭和・平成・令和　年　月		
	昭和・平成・令和　年　月		
	※高等学校以上について記載してください。		

職歴	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	昭和・平成・令和 年　月～　年　月	
	※施設名、診療科を記載してください。	

資　　格	
研修受講歴 (5日以上)	
学会及び社会における活動 (所属学会)	
賞　　罰	

※行が不足する場合は、追加して記入してください。

なお、記入された個人情報については、看護師特定行為研修以外には、利用しません。

様式３

※受験番号

志願理由書

令和　　年　　月　　日

氏名（自署）

【研修の志願理由及び研修修了後の抱負について 1000 字以上 1200 字以内で記入してください。】

【フォントの指定：明朝体、11 ポイント】

様式４

※受験番号

推　薦　書

令和　　年　　月　　日

鹿児島大学病院長　殿

施設等の名称

長の氏名　　印

鹿児島大学病院看護師特定行為研修の研修生として、次の者を推薦いたします。

志願者氏名

【推薦理由】

様式７－１（区分別特定行為研修）

※受験番号

令和　　年　　月　　日

既修得科目履修免除申請書

鹿児島大学病院長　殿

フリガナ

申請者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私は、看護師特定行為研修において、以下の科目を既に受講修了しているため、修了証を添えて既修得科目の履修免除を申請いたします。

記

履修免除を申請する既修得科目

履修免除申請既修得科目	研修修了認定指定機関	修了認定日
		平成・令和 年　月　日
		平成・令和 年　月　日
		平成・令和 年　月　日

様式７－２（領域別特定行為研修）

※受験番号

令和　　年　　月　　日

既修得科目履修免除申請書

鹿児島大学病院長　殿

フリガナ
申請者氏名（自署）

私は、看護師特定行為研修において、以下の科目を既に受講修了しているため、修了証を添えて既修得科目の履修免除を申請いたします。

履修免除を申請する既修得科目（該当する科目に〇を記入してください。）

科目名		既修得科目履修免除申請
共通科目		
在宅・慢性期領域パッケージ		既修得科目履修免除申請
区分別科目名	**特定行為名**	
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
外科術後病棟管理領域パッケージ		既修得科目履修免除申請
区分別科目名	**特定行為名**	
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	
	胸腔ドレーンの抜去	
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	

動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
術中麻酔管理領域パッケージ		既修得科目履修免除申請
区分別科目名	**特定行為名**	
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
急性期コース		既修得科目履修免除申請
区分別科目名	**特定行為名**	
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	

循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
在宅コース（院内）		既修得科目履修免除申請
区分別科目名	**特定行為名**	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	